

高美小学校内 TM だより

R8.6.24.NO.11

3年1組の体育の授業におじゃましました。

★ふりかえりからめあてへ★

授業のはじめには、前時のふりかえりを見返す場面がありました。「前よりできるようになったこと」や「次にながらみたいこと」について、前時に自分が書いた内容をもとに、それぞれが本時のめあてを考えていました。カードには、単元の目標を書くところがあるので、毎時間単元のゴールを意識し、めあてを立てることができるようになっていました。堀本先生は、前回の自分の姿を手がかりにして、少しレベルを上げためあてを設定するようながしておられました。ふりかえりを出発点にして学習が進められていました。

★自分に合った場での練習と全体での確かめ★

活動では、坂のついたマットや平らなマットなどが準備されており、子どもたちは自分のレベルに合わせて場を選びながら練習に取り組んでいました。友だち同士で声をかけ合ったり、アドバイスをしたりする姿も見られました。全体での場面では、上手にできている児童の動きをお手本にしながら、前転や後転のポイントを確認していました。「今日の自分のめあてはどうだった？」という問いかけもあり、自分の取り組みをふりかえる時間が途中にも設定されていました。その後は再び個別の練習に戻る流れとなり、一人一人が意識して取り組む姿が見られました。個人で練習する時間と全体でポイントを確認する時間が行き来することで、学びを深めながら何度も挑戦する様子うかがえました。

★安心して挑戦できる場づくり★

テストの場面では、「受けたい人から」という形が取られており、子どもたちは自分のタイミングで挑戦していました。できたときだけでなく、できなかったときにも拍手が送られていました。また、次にどうすればよいか伝えられており、そのあとの個人練習にいかそうとする姿も見られました。安心して挑戦できる雰囲気、全員で作っているように感じられました。

★「なぜなら」を使ったふりかえり★

終末にはふりかえりを書く時間がありました。「めあてに対してどうだった？」『なぜなら』を使って書こう。」という声掛けがなされ、子どもたちは静かに自分の学びを見つめなおしていました。授業研で高学年が提案していた「ふりかえりの型」がいかされた活動でした。

～まとめ～

前時のふりかえりをもとに本時のめあてを考え、自分に合った場を選びながら学習を進める姿が見られました。また、活動の途中にも自分のめあてをふりかえる場面があり、子どもたちは挑戦と見直しを繰り返しながら学習に取り組んでいました。終末のふりかえりでは、自分の取り組みを見つめ直し、次のめあてにつなげようとする様子うかがえました。ふりかえりを出発点として学びを積み重ねていく授業でした。堀本先生、3年1組のみなさん、ありがとうございました。

